



## WINTER SCHOOL 教員のたまご達 奮闘しました



皆さん、恵那 WINTERSCHOOL ではどんなことをしているか興味はありませんか。  
12 月 12 日に、現在教員を志望している生徒が学校に集まり、今回は 4 人の生徒が先生として、自分で計画した模擬授業を実践しました。まだ高校生である生徒達が、級友である生徒達の前で、自分の受けてみたい授業を披露しました。また、恵那地球塾とのコラボ企画ということで 26 組小栗まほ和さんにカナダでの留学体験のプレゼンを披露して貰い、日本の学校との違いなどを学ぶ機会となりました。



14 組 熊澤咲季さん

(中学・数学)

数字のゲームを体感し、そこから必勝法を考える。勝つための理論を数式で表したうえで、実際に活用出来るかどうか検証する。指導案・プリント・スライドも用意した本格的な授業でした。模擬授業で MetaMoji を活用する場面もあり驚きました。

11 組 夏目将成君 (中学・社会) 戦国時代

**テーマ**

なぜ \_\_\_\_\_ は \_\_\_\_\_ に近づいたのか？

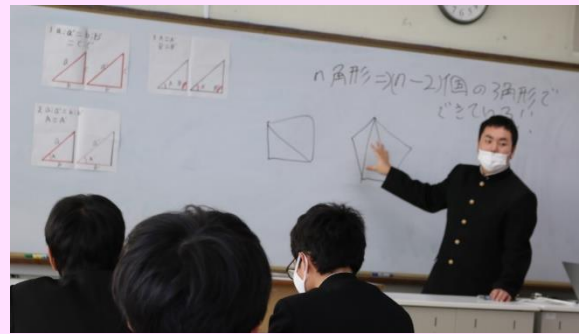
**まとめ**

\_\_\_\_\_ から \_\_\_\_\_ などの技術を取り入れたから。



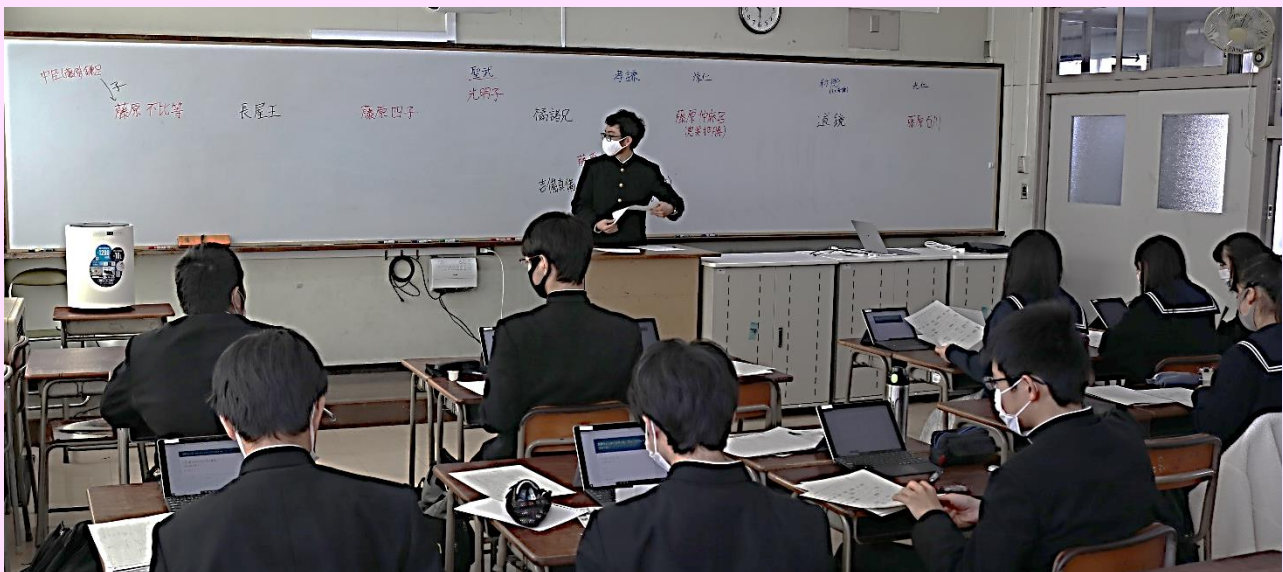
テーマとまとめがはっきりとした分かりやすい授業でした。授業前の緊張する姿は、まるで教育実習生のような様子でしたが、自分の得意分野では、本物の教員顔負けの熱弁ぶりでした。

《参加者感想》 ・ 状況に合わせ説明を変えたりヒントを出す臨機応変な対応力が必要だと思った。  
・ 凄く楽しかったです。それぞれがそれぞれのやりたいことを精一杯やっていて、見ていてこっちが楽しかったです。



23組 西尾俊哉君 (中学・数学)  
三角形の相似条件

机間巡視をしながら生徒の出来具合を観察し、ミスを見つけ正しい理解へと導こうとしていました。生徒の目線に立った、和やかな授業でした。



26組 吉村駿希君  
(高校・日本史) 奈良時代

- ・吉備真備を中心に歴史の舞台を読み解く
- ・自らアウトプット出来るよう理解する

教科書ではあまり取り上げられない人物に光をあて歴史的な背景から深い理解へと導く、という学問の本質に迫る高校らしい授業でした。日頃、ご教授頂いている教科担当の先生の姿が目に見えようで、教科への関心の深さが垣間見えました。

- 《参加者感想》
- ・また機会があったらやりたいです。
  - ・他の人の授業を聞いて楽しかったです。人前で堂々と話せるようになりたいです。
  - ・みんなの発表を聞いて、次回自分の発表をするのが楽しみにになりました。

**第2弾 WINTERSCHOOL を1月9日(土)に予定しています。生徒として参加してみませんか。**

恵那高校では、昨年・一昨年と、地域の中学校と連携しミニ教育実習をおこなってきました。夏休みや冬休みに自分の母校などの中学校に訪問し、学習会での学習支援をしたり小学校の水泳指導の手助けをしたりしてきました。こうした場を経験することで教員志望の生徒達が意識を高めたり、地域貢献することの大切さを学んだりしてきました。しかし、昨今の社会的な状況下では他校を訪問することは難しく、そうした経験を積む場も次々と取りやめになる中で、本校は独自に生徒達を育てる場を設けてきました。恵那高生はコロナ禍でも逞しく成長し続けています。